

2025 総特集版

Price ¥0

元気な共学校

元気な学校 Web版
genkina-gakko.jp



元気な

青稜中学校・高等学校



“社会に貢献できる人間の育成”

(1)意志の教育

人生の中では、つまづくことがあるかもしれません。そうした場面でも、くじけることなく前進できる強い意志力が大切と考えます。

(2)情操の教育

強い心を持ちながらも、他人を思いやることのできる人格形成を目指し、その為には豊かな感受性を育むことが重要と考えています。

(3)自己啓発の教育

そして(1)(2)を携えて社会の一員としてその個性を存分に発揮できるよう自己啓発の教育を重んじ、社会に貢献できる人物の育成をはかっています。

Genkina-Kyogakuko



青稜中学校・高等学校

〒142-8550 東京都品川区二葉1-6-6
tel 03-3782-1502 web <https://www.seiryo-js.ed.jp/>



主体的に生きる『個』の確立

「自分で考え、自分で決める」早くから「選択する」力を伸ばす青稜のゼミ

青稜は、創立以来「社会に役立つ人間の育成」を教育理念として、教育を実践してきました。「社会に役立つ」と言っても、「社会」の形は時代とともに変遷します。当然ながら、「社会に役立つ人間」のあり方も、それとともに変化し続けています。

そこで、一貫して大切にしているのは、はじめから「型」を示さないこと。社会に貢献できる人間の形はさまざまで、それぞれ人によっても多様です。そうした「個性」を尊重する校風が、各々の形で「社会に貢献する」主体性を育んでいると言えます。

個性の確立、自発的な「学び」の姿勢の養成、という観点から、2020年より「ゼミナール授業」を開設しました。あえて中学2・3年生という早い段階でゼミを導入したのにも理由があります。ゼミナール授業に込めた思いを、青田校長は以下のように述べています。

『ゼミを導入した狙いは3つあります。まず、入試が思考力や読解力、表現力を重視する方向に変わってくる。こうした力を伸ばすには、生徒たちの好奇心を刺激する必要がある。グループワークや討論、対話ダイアログ（など）、自由な形式で行うことができるゼミが最適だと考えました。2つ目は、生徒に先生の多様な側面を知ってほしかったこと。先生は教科のスペシャリストですが、ほかに

も多彩な力を持っています。実は天気予報が得意な先生がいたり、それこそアニメに精通している先生がいたりする。先生の素顔に触れてもらいたいという思いを、ゼミに込めました。最後は、生徒に「自分で考え、自分で決める」ことを早くから体験してほしい。この先、技術の進展によって社会はどんどん変わります。転職は当たり前になり、AIの進歩によって職業も激変する。そんな変わりゆく世の中を生き抜いていくには、「何が自分に必要か」を自分で考えて選び抜く力が不可欠です。「親に言われたから」「友達がやっているから」では、今は良くても将来きつと苦労してしまいます。自分で選ぶことには責任が伴いますが、未来を見据えて「考えて選ぶ力」を早いうちから身に付けてほしいと思います。』

もう一つ、青稜のキーワードは「挑戦」です。

生徒一人一人が、それぞれの「挑戦」を実践できる場を用意しています。例えば、語学の分野で新たな体験をしたいと考えている生徒のために、さまざまな研修プログラムを用意しています。一口に「海外研修」といっても、国内で実施するもの、オンラインで実施するもの、もちろん海外留学も短期・長期と、とにかく多彩。そこには、あくまで「自分に合った」形で挑戦してもらいたい、という思いを込



めています。学習面でも、以前は一律に「放課後講習」を実施し、学力の強化を図っていたのですが、いまは「Sラボ」という自習支援システムを導入しています。ここにも、「自分で考え、自分で決める」という青稜の理念が浸透しています。

卒業生からのメッセージ

太田 来和さん 大阪大学 経済学部 経済・経営学科

青稜は、生徒の夢と積極性を応援してくれる学校

大学受験を乗り越えられたのは青稜のおかげです。高校2年生のとき、「第一志望を京都大学、第二志望を大阪大学」と決めました。ただ、どちらの大学も自分の実力より上。模試では、京都大学はずっと「E判定」で、大阪大学も良くて「C判定」でした。

そんな状況にもかかわらず、青稜の先生は逆に私を励まし、「受かるためには、ここまで偏差値を上げないといけない」と、目標を示し続けてくれました。厳しい見通しの成績でも、「もうダメ」と思わせない環境にしてくださったことで、受験勉強に集中できました。

もう1つの決め手はSラボです。私の代から高校生もSラボを使えるようになって、中学から大学受験までの6年間活用し続けました。自分で言うのもおかしいですが、一番使っていたかも(笑)。

憧れていた大学に合格できて、今でも信じられない気持ちです。先生のサポートとSラボがなければ、ここまでたどり着けませんでした。青稜が、生徒の夢と積極性を認めて応援してくれる学校で、本当に良かったです。

櫻庭 健太郎さん 慶應義塾大学 商学部

高校受験の悔しさをバネにして掴んだ志望校合格

大学受験に臨むにあたっては、高校受験の悔しさを乗り越えたいという思いが強くありました。高校受験のときに感じましたが、難関校に合格している人は早い段階からコツコツ受験勉強